

本研究会は昭和 37 年に発足しました。前身の学校衛生会、川崎市保健会養護部会、養護教員研究会での取組と 62 年間の研究成果は、脈々と受け継がれています。

養護研究会全体テーマを踏まえて 7 行政地区ごとに研究テーマを掲げ、平成 7 年度からは、7 年に一度の紀要作成と研究報告会を行い、平成 24 年度からは、養護教諭経験のある校長も研究会長を務めるようになりました。

令和 4 年度からは、川崎市立小学校特別活動研究会と共催で南北 2 地区での授業研究会を年一回行っています。

令和 7 年度は、会員数 139 名でスタートしました。2 年間の準備期間を経て、学校保健研究と授業研究を柱に、毎月の地区研究会では保健室見学や情報共有を重ね、総会後の研修会や夏季研修会での学びをブラッシュアップしながら、「原点 創造 未来」「自助 共助 公助」を合言葉に、川崎の子どもの健やかな未来に向かって進んでいます。

令和 7 年度川崎市小学校教育研究会活動方針である、予測困難な社会を自立的に生きる子どもたちを育む小学校教育の創造～学習や生活の出来事に対して「見方・考え方」を働かせて、考えることができる子どもの育成～を具現化すべく、「児童の豊かなからだと心を育む健康教育をめざして」を研究テーマに、認め合い高め合う研究会であり続けます。

令和 7 年 8 月吉日

川崎市立小学校養護研究会 会長 菊地美和子